

清掃一組における 自己託送制度の活用について

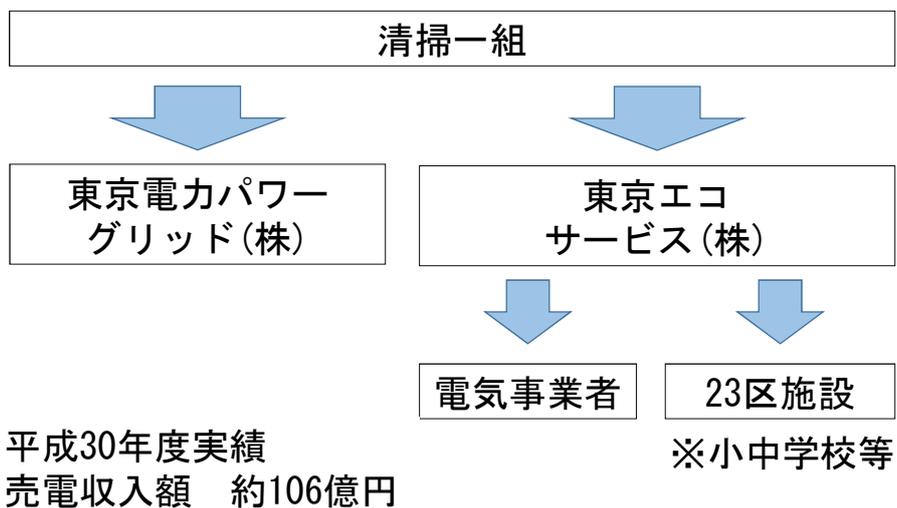
施設管理部技術課

目次

- 1 電気事業の仕組み**
- 2 自己託送とは
- 3 取組施設の選定
- 4 取組実績
- 5 まとめ

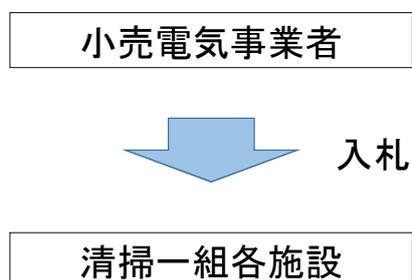
1 電気事業の仕組み

電力売却の仕組み(平成30年度)



1 電気事業の仕組み

電力購入の仕組み(平成30年度)



平成30年度実績
電気料金 約14億円

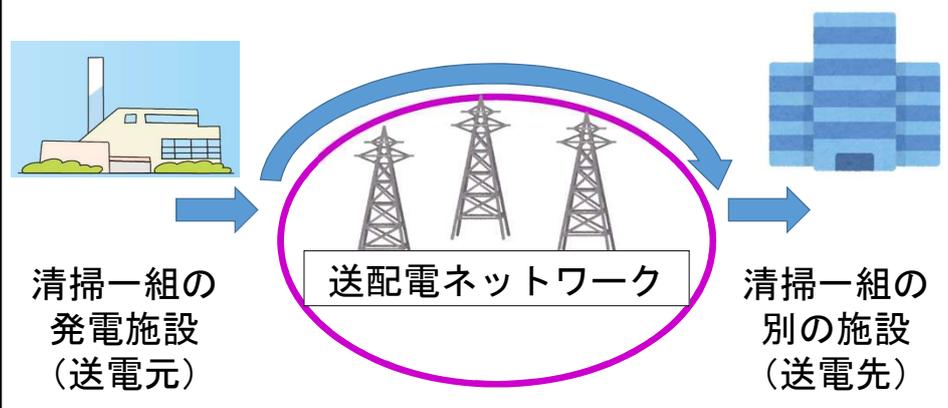
目次

- 1 電気事業の仕組み
- 2 自己託送とは
- 3 取組施設の選定
- 4 取組実績
- 5 まとめ

2 自己託送とは

自己託送を活用すると・・・

清掃一組の発電施設で発電した電力を、電力会社の送配電ネットワークを介して、清掃一組の別の場所にある施設に送電することが可能となる



2 自己託送とは

メリット

- 清掃一組の施設で発電した電力を自ら使用することによる電力の地産地消を実現
- 小売電気事業者から購入する電力が少なくなるため、電気料金の削減が期待できる
- 廃棄物発電電力の有効活用による二酸化炭素排出量の削減効果が期待できる

目次

- 1 電気事業の仕組み
- 2 自己託送とは
- 3 取組施設の選定**
- 4 取組実績
- 5 まとめ

3 取組施設の選定

送電先施設の選定

- 自己託送では使用する電力量が多い施設の方が経済効果大きい
- 発電施設がなく、常に一定量以上の電力を使用している



中防処理施設管理事務所を選定

3 取組施設の選定

中防処理施設管理事務所の概要

- 不燃ごみ処理センター
- 粗大ごみ破碎処理施設

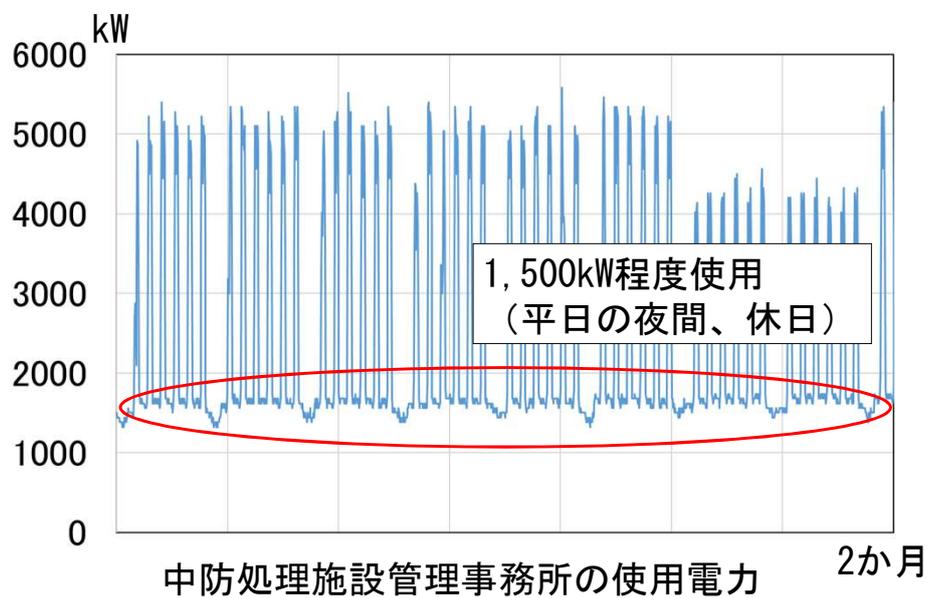


平成30年度実績

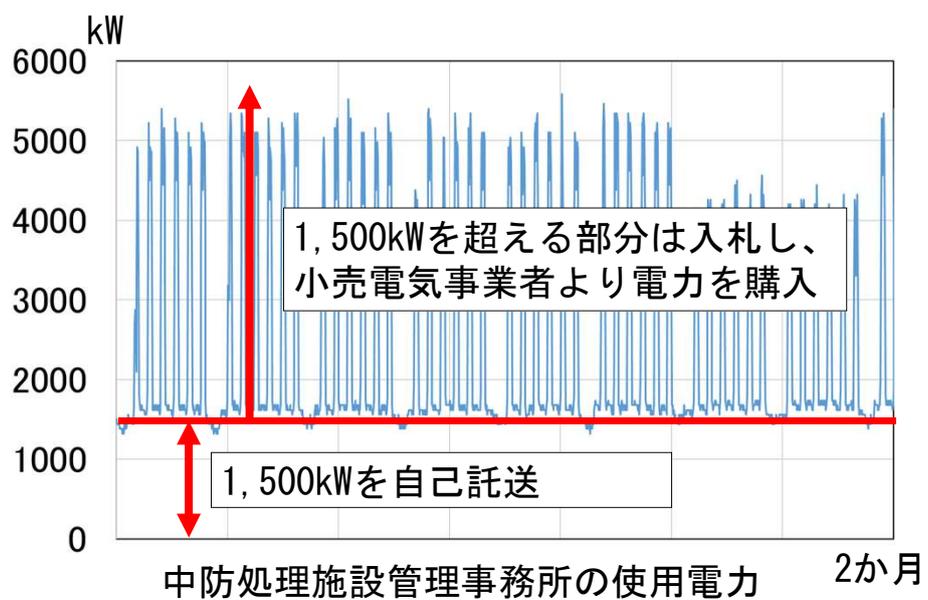
購入電力量 約2,000万kWh

電気料金 約3.3億円

3 取組施設の選定



3 取組施設の選定



3 取組施設の選定

送電電力と使用電力の関係

1,500kW使用中防処理施設管理事務所へは
どれくらい送電すればよいか？

- 損失があり、送電電力≠使用電力のため
使用電力を損失率2.9%で補正する

→1,544kW

各清掃工場から
中防処理施設管理事務所へ
送電する電力

3 取組施設の選定

送電元施設の選定

- 安定して1,544kWの送電が可能
- 焼却炉の計画外停止時にも送電ができるよう
複数炉工場が望ましい
- 定期補修工事時期の平準化

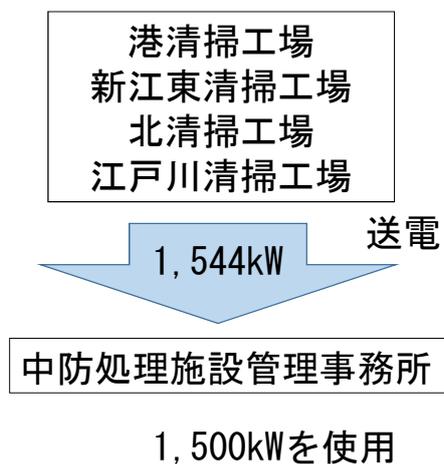


港清掃工場
新江東清掃工場
北清掃工場
江戸川清掃工場

上記4工場を選定

3 取組施設の選定

自己託送の実施体制まとめ



目次

- 1 電気事業の仕組み
- 2 自己託送とは
- 3 取組施設の選定
- 4 取組実績**
- 5 まとめ

4 取組実績

送電工場実績

日時	送電工場	送電電力 (計画値)	備考
4月 1日	港	1,544kW	自己託送開始
6月 7日	新江東	1,544kW	港工場故障
7月11日	港	772kW	新江東工場故障
	江戸川	772kW	
8月 6日	新江東	772kW	港工場故障
	江戸川	772kW	
8月23日	港	772kW	新江東定期補修工事
	江戸川	772kW	

4 取組実績

自己託送実績

	4月	5月	6月
計画値	1,111,680kWh	1,148,736kWh	1,111,680kWh
送電実績	1,111,680kWh	1,146,893kWh	1,107,912kWh
使用実績	1,096,998kWh	1,136,026kWh	1,098,056kWh

目次

- 1 電気事業の仕組み
- 2 自己託送とは
- 3 取組施設の選定
- 4 取組実績
- 5 **まとめ**

5 まとめ

自己託送業務を経験して

- 送電能力が大きい施設を4工場選定したが、想定以上に送電工場を変更した
- 送電工場はグループ化することにより、複数の施設から送電できることになり、急な送電停止時のリスク回避に有効
- 各清掃工場担当者から報告される発電状況が正確であったことや計画外停止時の速やかな連絡により、高い精度での送電を実現できた

5 まとめ

今後の予定

- 引き続き、確実に自己託送を実施し歳出の削減に努める
- 自己託送により培った知見を今後の電気事業の制度改革に生かし、先進的な取組を続ける

ご清聴ありがとうございました